

Go Next Driven.

第103期中間 株主通信

2025年4月1日から2025年9月30日まで

バンドー化学株式会社

証券コード : 5195



2025年度 第2四半期(中間期)の連結業績ハイライト

詳細はホームページに掲載されている情報をご覧ください。

<https://www.bandogrp.com/ir/>

売上収益

59,094 百万円

前年同期比

1.7%増



コア営業利益

4,463 百万円

前年同期比

8.7%増



親会社の所有者に帰属する中間利益

4,819 百万円

前年同期比 46.2%増



事業別の概況

自動車部品事業	産業資材事業
売上収益 29,481 百万円	売上収益 19,731 百万円
セグメント利益 2,432 百万円	セグメント利益 1,672 百万円

●国内では、自動車生産台数減少の影響を受けたものの、当社製品採用車種の増加により、補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)の販売が増加。

●海外では、欧米において補修市場向け製品の販売が増加し、中国・アジアにおいてはスクーター用変速ベルトなどの販売が増加しましたが、アジアでは補機駆動用伝動システム製品(オートテンショナなど)の販売が減少。

●伝動ベルトは、国内では、産業機械用伝動ベルトの販売が前年並みに推移。海外では、欧米において産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、中国では農業機械用伝動ベルトの販売が増加しましたが、アジアでは農業機械用伝動ベルトの販売が減少。

●運搬ベルトは、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト(サンライン®ベルト)の販売が増加。

高機能エラストマー製品事業
売上収益 7,118 百万円
セグメント利益 140 百万円

●機能フィルム製品は、装飾表示用フィルムの販売が増加。
 ●精密機能部品は、高機能ローラの販売が増加しましたが、精密ベルトおよびブレードなどの販売が減少。

その他事業
売上収益 3,151 百万円

●ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを展開。売上収益は増加ましたが、セグメント利益は減少。

2025年度 通期の連結業績見通し

売上収益	コア営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
117,000 百万円	8,200 百万円	7,400 百万円
前年同期比 1.2%増	前年同期比 5.9%増	前年同期比 394.5%増



代表取締役社長

植野富夫

社会のニーズの変化に柔軟に対応し、新たな価値を提供し続けます

株主の皆様には、日頃は格別のご高配にあざかり、心より御礼申し上げます。第103期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申しあげます。

当社グループを取り巻く外部環境は、地政学的緊張の高まりが継続するなか、中国においては、内需が減速し、欧米においても、米国政府

による関税引き上げなどの影響で、景気が減速いたしました。一方、アジア地域においては、内需が堅調に推移し、また日本でもサービス関連消費が全体を下支えし、景気は緩やかに回復いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Creating New Value for the Future”的

第1ステージの3年目として、「価値創造」、「スマートものづくり創造」、「未来に向けた組織能力の進化」の3つの指針を掲げ、事業活動に取り組んでまいりました。とくに「価値創造」では、省エネルギーに寄与する屋外用放射冷却フィルムを開発し、テスト販売を開始したほか、電子機器等で用いられるグリース状の放熱材として、放熱グリース「HEATEX® TG900シリーズ」を新たにラインアップに加えました。この結果、当中間連結会計期間は、

売上収益は59,094百万円(前年同期比1.7%増)となりました。コア営業利益は4,463百万円(前年同期比8.7%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は4,819百万円(前年同期比46.2%増)となりました。当社は来年創業120年という大きな節目を迎えますが、このように長きにわたって持続的な成長を実現してこられたのは、社会のニーズの変化に柔軟に対応し、各時代で必要とされてきた新たな価値を提供し

続けてきましたからであると考えます。今後は事業環境の変化のスピードがさらに速まっていくと思いますが、このような環境であるからこそ経営理念に掲げた「調和と誠実の精神」をもって、社会に貢献することを実践するとともに、株主の皆様とのコミュニケーションをさらに深めていく所存です。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

TOPICS

2025年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ■「自己株式取得に係る事項」の決定 ■放熱グリース「HEATEX® TG900シリーズ」を販売開始 ■嚥下(えんげ)運動モニタ「B4S™」が介護テクノロジー利用の重点分野「食事・栄養管理支援」に該当する機器に選定 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2025」に出展 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■屋外用放射冷却フィルム「Silver Arrow®」のテスト販売を開始 ■ESG総合型指数「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に選定 ■「COMNEXT 第3回[次世代]通信技術&ソリューション展」に出演 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■「子ども参観」、「納涼祭」を実施 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■低騒音性・横剛性に優れた物流搬送用ベルト「ミスターPro キャリー™」の販売開始を発表 ■「国際物流総合展2025 第4回 INNOVATION EXPO」に出演 	

特集

新規事業の進化とコア事業の深化を加速

2023年度を初年度とする中長期経営計画“Creating New Value for the Future”的第1ステージ(CV-1)では、「価値創造」、「スマートものづくり創造」、「未来に向けた組織能力の進化」という3つの指針を掲げています。このうち、「価値創造」については、新規事業の進化とコア事業の深化に取り組んでいます。

屋外用放射冷却フィルム「Silver Arrow®」

新規事業のうち、環境・エネルギー領域では、当社独自のフィルム加工技術を用い、省エネルギーに寄与する屋外用放射冷却フィルム「Silver Arrow®」を開発し、2025年7月からテスト販売を開始しました。地球温暖化などの影響を受け、冷却に係るエネルギー消費は今後も増加することが見込まれます。このような状況のなか、太陽から放たれる、熱を持つ近赤外線を高反射しながら、熱を効率

良く放射することで、物体の温度上昇を抑制でき、暑熱対策や省エネルギーにも役立つと期待されている「放射冷却」に着目し開発した屋外用放射冷却フィルム「Silver Arrow®」は、反射層に銀を活用することで、高い近赤外線反射効果を引き出し、熱放射性にも優れているため、建物や機器、貨物室などの内部温度上昇を抑制します。

物流搬送用ベルト「ミスターProキャリー™」

コア事業では、物流市場向けに低騒音性・横剛性に優れた物流搬送用ベルト「ミスターProキャリー™」を開発し、2025年10月から販売を開始しました。

物流現場では、水平ライン、傾斜ライン、急停止・急加速を伴うインダクションライン、横方向から搬送物が合流するライン、搬送物を滑らせるシートラインなど、用途に応じて搬送用ベルトに求められるニーズは多岐にわたります。これらのニーズにお応えするために、それぞれの用途に対応する機能を付加した搬送用ベルト6品種を開発しました。

■ 株式の状況

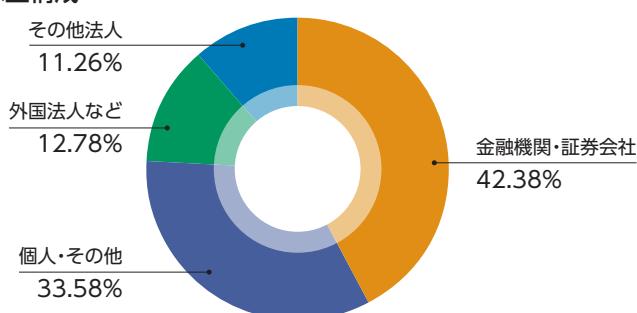
発行可能株式総数	187,000,000株
発行済株式の総数	44,213,536株 (自己株式2,741,793株を含む。)
株主数	10,689名

■ 大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
バンドー共栄会	4,857	11.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,019	9.69
株式会社三井住友銀行	2,101	5.07
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.82
株式会社みずほ銀行	1,800	4.34
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.80
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,401	3.38
日本生命保険相互会社	1,174	2.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	997	2.41
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	741	1.79

(注) 1. 当社は、自己株式を2,741,793株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は、自己株式を控除して算出しております。
3. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

■ 株主構成



■ 会社概要

社名 バンドー化学株式会社
Bando Chemical Industries, Ltd.
創業 1906年(明治39年)4月14日
設立 1937年(昭和12年)1月7日
本社事業所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
ホームページアドレス <https://www.bandogrp.com>

■ 役員

取締役

取締役会長 吉井満隆
代表取締役社長 植野富夫(社長執行役員)
取締役 染田厚(専務執行役員)
取締役 岡田勉(専務執行役員)
取締役 畑克彦(常務執行役員)
取締役(監査等委員) 中村恭祐(常勤)
社外取締役(監査等委員) 米田小百合
社外取締役(監査等委員) 富田健司
社外取締役(監査等委員) 久川秀仁

執行役員

常務執行役員 永瀬貴行
常務執行役員 八木尚史
執行役員 野口忠彦
執行役員 三木基史
執行役員 橘博之
執行役員 吉田良太
執行役員 林一志
執行役員 明石充弘
執行役員 池田治良

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.bandogrp.com ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上場取引所	東京証券取引所(プライム市場)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他の各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

個人投資家の皆様を対象としたIRメール配信サービスを行っています。

配信登録をいただいた皆様へ、最新のニュースリリース等、当社IRに関する情報をお知らせしています。
メールアドレスをお持ちの方であれば、どなたでも無料で登録いただけますので、ぜひご利用ください。

登録先URL:https://www.bandogrp.com/ir/news_service.html

右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただいてもアクセス可能です。

※配信は当社の判断に基づいて行います。※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※株式会社マジカルポケットが提供するメール配信サービスを通じて配信しています。

